『介護をしようと思ったきっかけ』

**特別養護老人ホーム　清和園　伊藤　侑芽**

私は特別養護老人ホームの介護職員として働き始めて約2年経ちました。なんで介護をやってみようと思ったのか。きっかけは私の母でした。母が祖父母を介護してる姿を見てとても大変そうな印象を受けました。私もいつか両親の介護をしなくちゃいけないかもしれない、また、少しでも母の手助けが出来たらと思い、介護に対しての興味が湧き、介護施設で働いてみようと思いました。知識も経験も浅く、不安でしかなかった私でしたが、優しく丁寧に指導してくれた介護職員の先輩方のおかげで、知識ゼロだった私も少し成長できたのかなと思っています。両親がもし介護が必要になった時、自分を頼ってほしいという気持ちもありますが、当面は、それぞれの人生を歩んでこられた利用者様とお話をしたり、生活のお手伝いをさせて頂くことで、さらに介護の知識を深め、利用者様に頼られる職員を目指していきます。

頂いている時ふと思う事があります。もし両親が介護が必要になった時、私を頼ってくれるだろうか。これからも介護の勉強に努めていきたいです。

きっかけをくれた母には感謝してます。

時々実家に帰った際、最近の祖父の家の中での状況やデイサービスでの出来事を私に話してくれる時があります。母の話を聞いて思うのが、やっぱり介護は大変だという事が介護をしてる自分にとって共感できる部分が増えました。いつか両親の介護をしなくちゃいけない時、自分の両親に対してどのような介護になるのか、この先どうなるのかわかりませんが、今わかることは両親と一緒に過ごす時間を大切にしなくちゃいけないということです。介護が必要になった時、自分を頼ってほしいという気持ちもあります。介護士として約2年勤めてますが、経験が浅いです。これからも介護士としての経験を積み重ね、自分自身が更に成長できるよう努めていきたいです。

「介護をしようと思ったきっかけ」